



## 学校だより7月号

## つなぐ



## 先を見通すことができない時代を生きる

## ～なぜ、学ぶことが大切なのか?～

桜陵祭が終わりました。2日間で高校門の通過者が7,000名あまりと聞いております。保護者の皆様や近隣の方々、また多くの同窓生の皆様にご来場いただき盛大な文化祭となりました。ありがとうございました。また2日目は本校の保護者会連合会の主催のもと、保護者会物産展を実施しました。保護者の方のご協力を得て文化祭に関わっていただきましたことに感謝を申し上げます。生徒の皆さんにお伝えしたいことは、お祭りの後のことです。キーワードは「切り替え」です。この後は勉強に気持ちを切り替えて臨むことが大切です。4月から学んできたことをしっかり学習の成果として定着できているか確認するのが今度の定期試験ですので、計画はすでにでき、準備に余念がないと私は期待しています。大丈夫ですか？

ところで、今年の夏も猛暑となるのでしょうか。異常気象には6月に3つの台風が本州に接近してきたことから警戒しています。特に台風7号・8号は同日の朝と夕方に立て続けに来ましたが、私も経験がありませんでしたので、大きな被害が出ないように祈るほどの不安を覚えました。災害はいつどこで起こるかわかりません。今回はさらに同時に大きな地震まで発生しています(緊急地震速報が一斉になりだしましたので、非常に驚きました)。今回のできごとで私は、日頃よりいかに防災の意識を持つことは大切であるか、改めて認識しているところです。生徒の皆さんは特に通学時に大規模地震が発生した場合どのように対応するかご家族の皆さんとともに話をしていますか。様々なケースが考えられます。今一度、ご家族で確認していただきたいと思います。

2026年も半分が終わりました。私のように歳を重ねて来た者はあつという間に後半戦かという思いでいっぱいです。世の中を見ていますと今までとは少し違う出来事が起きている2026年の前半だと感じています。何となく心がざわつく。私は今年に入ってそのような感覚を持ちながら過ごしてきました。いったいこの感覚は何を示しているのでしょうか。いざ、学校に来て仕事をはじめれば、教育活動に勤しむ日常があります。生徒の明るく元気な声に私も励まされる思いで月並みですが教師冥利に尽きますし、先生方や保護者の皆様をはじめ、多くの方々に学校は支えられていることを実感しながら過ごす毎日です。たいへんありがたいことです。一方、外を見渡すと何となく見えない大きな壁があり、先を十分見通すことができない世の中に私は生活していることを感じる場面があります。

「今までなら…」。そう「経験」が解決を促してくれたことが通用しない。社会の変化の速さに対して「経験」が通用しない不安を単に感じているということでしょうか。だからこそ学び続けることが必要であるというのは頭ではわかったとしてもいざとなると…。というのが私の今の心境でしょう。

最近、生成AIが様々な場面で活用されるようになりました。「誰がこのような世の中になると思っていたのでしょうか。」というのは私の言い分です。世の中の急速な変化に不安を言い訳にしている私ですが、昔から人生の先は誰も見えなかったはずで、では生きるための道を切り開く原動力は何でしょうか？私は学びが大切であり、自分のことを知る手段として必要であると思います。いつ、学ぶのですか？今の私に言えることは、年齢に関係なく学び続けることが大切であると考えています。今は学びの在り方が問われる時代。その土台を高校生・中学生の時に作りましょう。